

その他の商業－その他における金属材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	9～ 10	ヤード内にて整備作業中、A支柱（14kg／本）を60本束に番線結束した束の番線を切った際、崩れたA支柱が右足甲にあたり負傷した。	67	10 ～ 29
3	14～15	ヤード内にて整備作業中、A支柱（14kg/本）を1本運搬し、部材の上に置く際に部材を倒し、右手親指を挟み負傷した。	64	10 ～ 29
5	17～ 18	被災労働者は、営業所作業場において、担当のお客様がレンタルした機材をダンプに積み込む作業中、ダンプのアオリが右足の上に落下し負傷した。	54	1～ 9
5	16～ 17	工場内作業場でクンクリート2次製品製造用型枠を整備中に、蝶番開閉の側板を少し開く作業をしていた時にストッパーがかからずに倒れてきて、側板と地面とで挟まれた。	58	10 ～ 29
6	14～ 15	団地内の公園にある側溝内の清掃をするため、U字溝の蓋を手で持ち上げた際、手を滑らせ、U字溝の蓋を左足の上に落としてしまった。その日は、痛みはあったが退勤時間まで作業し、退勤後に病院で診察を受けたところ、左足親指付近の内出血と打撲のため、1週間程度様子を見るようにとの診断を受けた。	26	100 ～ 299
7	9～ 10	場内倉庫作業中、ガードフェンス（1800×1800）の山を（約60枚）移動しようとしたところ、資材の不安定を直そうとフォークリフトから降りて作業をしていたときに荷崩れし、高さ約2mから左足に落下させてしまい、左足腓骨を骨折した。	51	1～ 9
9	15～ 16	工場構内で、鉄くずをガス切断作業していた所、作業中の鉄くずの切断が終わったと思い確認をしようとした時、未切断の鉄くずが急に落下してきて右足甲にあたり	48	50 ～

		ひびが入った。		99
9	11～ 12	当社、作業場内に於いて、H鋼（架台）サンドル（15cm×15cm×60cm、重さ30kg）をパレットに並べて収納している時、H鋼同士に隙間があったので、再度並べ直そうとH鋼を底から持ち上げたときに、手（皮手袋）が滑り、H鋼とH鋼の間で挟み左手薬指を負傷したものである。	42	30 ～ 49
11	13～ 14	当社敷地内にて、足場部材を車両荷台より降ろしている作業中に、部材（支柱）の間に指を入れて手で持ち上げる動作をした際、バランスを崩して持っていた支柱間に左指を挟めて負傷した。手袋はしており、手元が滑り易い状態でもなく通常下だったが、支柱2ヶ（各14kg程度）の間に挟んだ後異常を感じ、同日中に仕事を早退して病院を受診した。	22	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html